

Wi-Fi HaLowを用いたアンダーパス遠隔監視の 映像伝送検証にフルノシステムズが技術協力

総務省の「地域デジタル基盤活用推進事業」に採択された実証実験。高岡ケーブルネットワークが富山県高岡市で実施する映像伝送検証において、IoT基盤構築に適した通信規格「Wi-Fi HaLow」を活用。

株式会社フルノシステムズ（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：中谷聡志、古野電気(株)関連会社）は、高岡ケーブルネットワーク株式会社（本社：富山県高岡市、代表取締役社長：山口伸一）が富山県高岡市で実施する道路アンダーパスにおける遠隔監視のための映像伝送検証に技術協力いたします。



フルノシステムズのIoTゲートウェイ対応11ahアクセスポイント「ACERA 330」

IoTのネットワーク構築に適した無線LAN通信規格であるIEEE802.11ah（別名：Wi-Fi HaLow）を活用したカメラ映像の伝送検証において、フルノシステムズのIoTゲートウェイ対応11ahアクセスポイント「ACERA（アセラ）330」を採用いただきました。ACERA 330を設置してネットワークを構築し、市内3か所のアンダーパスに配備したカメラによる遠隔監視の実証に取り組みます。ゲリラ豪雨などの大雨によりアンダーパスが冠水した際に発生する車両の立ち往生や水没などの事故を未然に防ぐための手段として、地域課題の解決を目指します。

本件は「Wi-Fi HaLowでアンダーパス遠隔監視の実証」という事業名で、総務省の令和5年度 地域デジタル基盤活用推進事業における実証事業に採択されました。実証実験は2023年12月に開始する予定です。

報道記者、関係者各位

実証実験に先立ち、高岡ケーブルネットワークと株式会社三技協（本社：横浜市都筑区、代表取締役社長：仙石泰一）は、10月26日(木)から28日(土)に富山産業展示館（テクノホール、富山市）で開催された展示会「T-Messe2023 富山県ものづくり総合見本市」に出展しました。

展示ブースでは、ACERA 330 のネットワークに接続したIPカメラの動画撮影のデモンストレーションや、ACERA 330を管理するための無線ネットワーク管理システム「UNIFASクラウドIoT」のダッシュボード画面、Wi-Fi HaLow対応のIPカメラなどを展示して紹介しました。



T-Messe2023 高岡ケーブルネットワークの展示ブースの様子

■ 各種情報

- ◇ T-Messe2023 富山県ものづくり総合見本市のホームページはこちら
<https://www.toyama-tmesse.jp/>
- ◇ 高岡ケーブルネットワーク株式会社のホームページはこちら
<https://www.tcnet.ne.jp/>
- ◇ 総務省の地域デジタル基盤活用推進事業の情報ははこちら
https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/ictriyou/digital_kiban/index.html

【フルノシステムズについて】

フルノシステムズは、無線LANシステム分野のリーディングカンパニーです。無線ハンディターミナルをはじめ、無線LAN構築には欠かせないモバイル&ワイヤレスソリューションを提供しています。無線ネットワーク管理システム『UNIFAS（ユニファス）』およびネットワーク機器『ACERA（アセラ）シリーズ』は、国内メーカーである高い品質と技術、充実したアフターサービスが評価され、オフィスや学校、公共施設においてシェアが拡大しています。

■ホームページ <https://www.furunosystems.co.jp/>

※ 記載されている商品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

【問合せ先】 株式会社フルノシステムズ

〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル

【広報窓口】 TEL:03-5600-5115 マーケティングコミュニケーション室 広報担当：川合

URL : <https://www.furunosystems.co.jp/> Mail : webmaster@furunosystems.co.jp